団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	水道事業	_	

# 実施状況

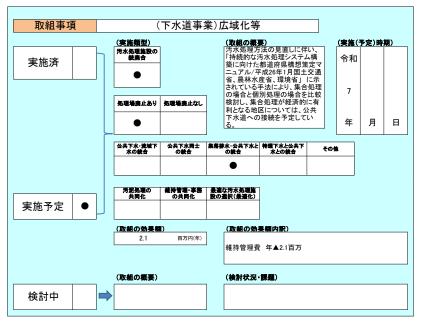
		抜本	的な改革の	の取組			
事業廃止	民営化・	地方独立 行政法人	広域化等		民間活用		現行の経営
于木优工	民間譲渡	への移行	/A/96 10 47	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続
•							

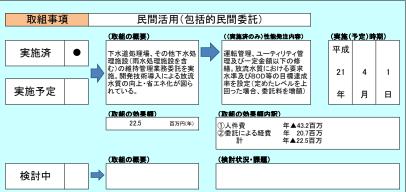
取組事項	į	事業	事業廃止				
		(取組の概要)	(全部と一部の別)	(実施)	予定)時	期)	
実施済	•	・平成28年度より、簡易水道	全部廃止  一部廃止	平成			
		事業を上水道事業へ統一。 ・統合に伴い計画給水人口を 113,180人→120,900人、1日最 大計画配水量を58,650㎡→	①診療所化·介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化	28	4	1	
実施予定		大計画配水量を36,030HIII 55,900㎡に変更。	③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 ● ⑥その他	年	月	日	
		(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)				
		10.2 百万円(年)	·効果額 10.2百万円(年) ·内 訳 人件費 年▲10.2				
		(取組の概要)	(検討状況・課題)				
検討中							

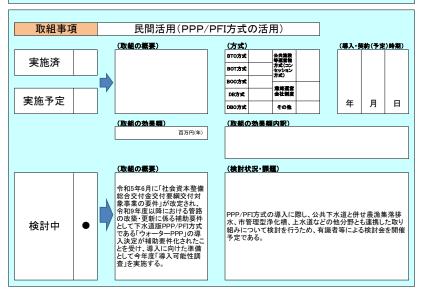
団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	公共下水道	

#### 実施状況

	抜本的な改革の取組											
事業廃止	民営化・	地方独立 行政法人	広域化等		民間活用		現行の経営					
7.7.5	民間譲渡	への移行	M-4010-43	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続					
			•		•	•						



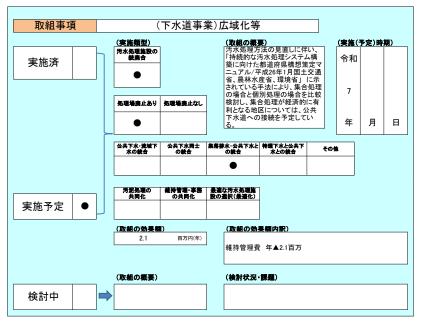


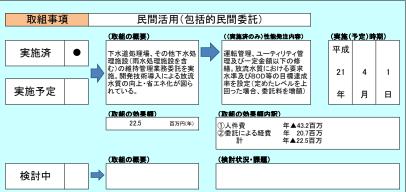


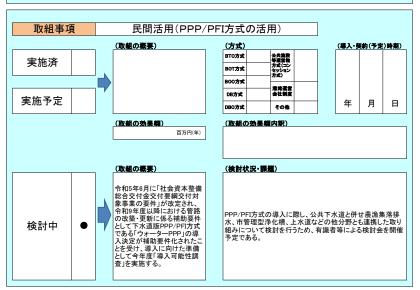
団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

#### 実施状況

		抜本	的な改革の	り取組			]	
事業廃止	民営化·	地方独立 行政法人	広域化等		民間活用			現行の経営
7.7.5	民間譲渡	への移行	M-4010-43	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用		体制を継続
			•		•	•		







団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	農業集落排水施設	

# 実施状況

の取組	
民間活用	現行の経営
指定管理者 包括的 PPP/PFI方式 制度 民間委託 の活用	体制を継続
	<b>民間活用</b> 指定管理者 包括的 PPP/PFI方式

取組事項 (下水道事業)広域化等								
	(実施類型)		(取組の概			(実施(	予定)時	期)
実施済	汚水処理施設の 統廃合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		「持続的な対象に向けた ニュアル/平	「法の見直しに件 5水処理システ」 ・都道府県構想第 「成26年1月国土	ム構 記定マ :交通	令和		
	の場 処理場廃止あり 処理場廃止なし 検討 利と		されている。 の場合と個 検討し、集1 - 利となる地	省、農林水産省、環境省」に示されている手法により、集合処理の場合と個別処理の場合を比較検討し、集合処理が経済的に有利となる地区については、公共		7		
	•	下水道への接続を予定している。		しい	年	月	日	
	公共下水·流域下 水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水・公共下水と の統合	特環下水と公共下 水との統合	そのも	也		
			•					
	汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)					
│ 実施予定 │ ● │ │								
	(取組の効果器	i)	(取組の効	果額内訳)				
	2.1	百万円(年)	<b>数性类型</b>	計年▲2.1百万				
			推行官理負	[ 午▲2.1日力				
	(取組の概要)		(検討状況・	·課題)				
検討中	<b>&gt;</b>							

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	漁業集落排水施設	

# 実施状況

	抜本的な改革の取組											
事業廃止	民営化·	地方独立 行政法人	広域化等		民間活用		現行の経営					
于未况工	民間譲渡	への移行	12-96 10-47	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続					
			•									

一級本的な以中の	1人小田・レくルし	J						
取組事項	(	下水道事	業)広域化等					
	(実施類型)		(取組の概	要)		実施(-	予定)時	期)
実施済	汚水処理施設の 統廃合							
	処理場廃止あり	処理場廃止なし				年	月	В
							7	
	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水·公共下水と の統合	特環下水と公共下水との統合	その他			
	汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)					
実施予定								
	(取組の効果額	 [)	(取組の効	果額内訳)				
		百万円(年)						
	(取組の概要)		(検討状況	·課題)				
検討中  ●	各施設の老朽付今後多大な費用ことから、汚水が廃合を検討して	用が必要となる 処理施設の統	複数の広域り込むことが	∜化・共同化のメニ ゞ非常に難しい。	ニューからぼ	実施する	るメニュ-	ーを絞

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	特定地域排水処理施設	

## 実施状況

	抜本的な改革の取組						
事業廃止 民営化・ 民間譲渡	民営化・	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			現行の経営
	民間譲渡			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続
							•

## 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市においては、農業集落排水事業周辺において、公用水域の水質保全と、農業生活環境の改善及び、生産性の高い農業と活力ある農村の形成を目的に、市設置型浄化槽を84基整備しており、設置については受益者より負担金を  徴収し、設置後は利用者より使用料を徴収し維持管理を行っていることから、現手法を継続していく。

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	と畜場事業	_	

## 実施状況

抜本的な改革の取組								
事業廃止	民営化·	民営化・ 地方独立 行政法人		民間活用			現行の経営	
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	民間讓渡	への移行	広域化等	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続	
•								
•								

## 抜本的な改革の取組状況

#### 取組事項 事業廃止 (取組の概要) (全部と一部の別) (実施(予定)時期) 一部廃止 全部廃止 令和 本市のと畜場については、設 実施済 備の一部が老朽化していたこ とから、豚及びめん羊・山羊の 2 と畜業務を取り止めたことで、 4 1 豚等の処理ラインの整備に係 ①診療所化・介護施設化 る費用が不要となり、また、牛 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 処理ラインの改善を図るうえ 年 月 日 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 で、旧豚処理スペースを有効 実施予定 利用することができた。 (取組の効果額) (取組の効果額内訳) 506 百万円(年) 老朽化した小動物係留・解体・懸肉設備(豚、羊またはめん 羊を処理する施設)を使用可能な状態に再整備した場合の 費用(試算) •小動物係留場機械設備 1式 ▲102百万円 1式 ▲299百万円 1式 ▲105百万円 ·小動物解体室機械設備 1式 •小動物懸肉•冷却室機械設備 ▲506百万円 合計 (取組の概要) (検討状況・課題) 検討中